

筑波技術短期大学附属診療所活動報告

1. 組織 (2004年2月現在)

専任職員

| | |
|-------|---------------|
| 所長・教授 | 青柳一正 (漢方, 内科) |
| 助教授 | 津嘉山洋 (鍼灸) |
| 助手 | 山下仁 (鍼灸) |
| 看護部 | 菊池典子 (師長) |
| | 根本由紀子 |
| 薬剤部 | 金子鶴子 |
| 臨床検査部 | 木村里美 |
| 放射線部 | 水木知恵 |
| 医事係 | 瀬尾栄一 (専門職員) |
| | 鈴木文子 |

併任職員

鍼灸学科

| | |
|-----|-------------|
| 教授 | 柴崎正修 (小児科) |
| 教授 | 吉田紀明 (神経内科) |
| 教授 | 形井秀一 (鍼灸) |
| 教授 | 森山朝正 (鍼灸) |
| 助教授 | 坂井友実 (鍼灸) |
| 助教授 | 野口栄太郎 (鍼灸) |
| 助教授 | 藤井亮輔 (鍼灸) |
| 助教授 | 森英俊 (鍼灸) |
| 助教授 | 和久田哲司 (鍼灸) |
| 講師 | 佐々木健 (鍼灸) |
| 助手 | 木村友昭 (鍼灸) |
| 助手 | 殿山希 (鍼灸) |
| 技官 | 市川あゆみ (鍼灸) |

理学療法学科

| | |
|-----|-------------|
| 助教授 | 石塚京子 (整形外科) |
| 助教授 | 吉田次男 (放射線科) |

保健管理センター

| | |
|----|--------------|
| 教授 | 深間内文彦 (心療内科) |
| 教授 | 市川忠彦 (精神科) |

非常勤職員

| | |
|-------|-------|
| 看護部 | 森田和恵 |
| 臨床検査部 | 古澤敏子 |
| 放射線受付 | 望月雅子 |
| 鍼灸部 | |
| 受付 | 菊地良子 |
| | 作間千鶴子 |
| 鍼灸師 | 堀紀子 |
| | 稲木千春 |
| | 谷津忠志 |
| | 山根慎司 |

附属診療所研修生 18名

鍼灸学科研究生 3名

鍼灸学科アドバンスコース学生 4名

客員研究員 1名

開設後12年を経過し、漢方・鍼灸・西洋医学を統合した新しい医療というコンセプトも地域に徐々に浸透している。

地域への医療サービスの提供とともに、鍼灸学科学生の臨床実習の場として機能している。また、さらに鍼灸師の卒後臨床研修を行う制度として、平成5年度から研修生の制度が発足している。

専任スタッフの少なさが悩みであるが、開設以来ハード面では十分な配備が行われ、診療用設備の整備も進み、放射線診断装置としては単純X線、X線テレビ、X線CT、X線骨塩量測定装置に加え、平成10年度にはMRIが導入された。機能検査としては脳波計、筋電計、超音波診断装置、サーモグラフィ、ポリグラフが整備されている。

今後はより良い医療サービスの提供と充実した教育・研究活動のために、ソフト面を充実することが課題となっている。2002年6月26日には診療所内に教職員、学生の作品を展示するギャラリーがオープンし患者に好評である。

また、臨床・研究活動の他に鍼灸学科の企画で公開講座を実施している。

1) 「家庭でできる鍼灸・手技療法」：一般市民を対象に講義と実習を含めて行った。

2) 「鍼灸・手技の臨床実技講座」：鍼灸師を対象に実技を中心に行った。

3) 「医師のための鍼灸実践講座」：医師を対象に講義と実技を含めて行った。

研究業績 (専任教員が関わったもののみ)

◇著書

1) 山下仁, 津嘉山洋: 鍼灸の臨床試験, 今西二郎, 別冊・医学のあゆみ 現代西洋医学からみた東洋医学, 医歯薬出版, 東京, 106-110, 2003

2) 山下仁: 関節リウマチと相補代替医療, 七川歡次, リウマチ病セミナー14, 永井書店, 大阪, 215-224, 2003

◇原著

1) Aoyagi K: Inhibition of Arginine Synthesis by Urea: a New Mechanism of Arginine deficiency in Renal Failure which Lead to

Increased Hydroxyl Radical Generation. Molecular and Cellular Biochemistry 2003, 244(1-2): 11- 15.

- 2) Aoyagi K, Y Kuzure, S Shahrzad, A Hirayama, S Nagase, A Ueda: Inhibition by Heparin of Protein Kinase C Activation and Hydroxyl Radical Generation in Puromycin Aminonucleoside Treated Isolated Rat Hepatocytes. Molecular and Cellular Biochemistry 2003, 244(1-2): 3-9.
- 3) Nagase S, Suzuki H, Wang Y, Kikuchi S, Hirayama A, Ueda A, Takada K, Oteki T, Obara M, Aoyagi K, Koyama A: Association of eNOS gene polymorphisms with end stage renal diseases. Mol Cell Biochem 2003; 244(1-2): 113-8.
- 4) Hirayama A, Nagase S, Ueda A, Yoh K, Oteki T, Obara M, Takada K, Shimozawa Y, Aoyagi K, Koyama A: Electron paramagnetic resonance imaging of nitric oxide organ distribution in lipopolysaccharide treated mice. Mol Cell Biochem 2003; 244(1-2): 63-67.
- 5) Yokozawa T, Rhyu DY, Cho EJ, Aoyagi K: Protective activity of (-)-epicatechin 3-O-gallate against peroxynitrite-mediated renal damage. Free Radic Res 2003; 37(5): 561-71.
- 6) 山下仁, 津嘉山洋, Park J, White AR, Ernst E, 鍼の安全性に対する鍼関連業者の考え方—アンケート調査—, 東洋医学とペインクリニック, 31(1-4), 10-17, 2001 (2003. 4. 発行)
- 7) 山下仁, 石塚京子, イギリスの視覚障害者高等教育機関におけるチューターの役割—The West of England College のケース—, 筑波技術短期大学テクノレポート, 10(1), 93-96, 2003. 3

◇総説・解説

- 1) 青柳一正: 新しい腎不全における酸化ストレス増加機構: 尿素によるアルギニン産生の阻害. 腎と透析 2003; 54: 724-7.
- 2) 青柳一正: 脂質過酸化物質と腎障害. 腎と透析 2003; 54: 263-7.
- 3) 津嘉山洋, 山下仁: 腰部脊柱管狭窄症に対する東洋医学的アプローチ: 鍼灸治療. Vita 2003; 20(2): 48-52.
- 4) 津嘉山洋, 山下仁: 鍼灸治療の評価尺度としての QOL—文献的検討—, 全日本鍼灸学会雑誌 2003; 53(2): 167-72.

- 5) 山下仁, 津嘉山洋, CASANOVA Emanuela, 石塚京子: 鍼治療とリハビリテーション—脳血管障害後遺症および腰痛に対する臨床効果のエビデンス—. Geriatric Medicine 2003; 41(7): 1005-10.
- 6) 山下仁, 津嘉山洋: 日本における相補代替医療の普及状況—「バブル」「玉石混淆」「エビデンス」—, 医道の日本 2003, 62(1), 151-7.
- 7) 山下仁: 鍼灸と EBM—現状と課題—, 日本代替・相補・伝統医療連合会会議誌 2003, 4(6), 71-4.
- 8) 山下仁, 津嘉山洋: 経穴(ツボ)の認識と国際化. 臨床検査 2003; 47(7): 773-7.
- 9) 川嶋朗, 山下仁, 鍼灸治療, 臨床検査 2003, 47(7), 719-724.

◇その他の論文など

- 1) 青柳一正: 「腎とフリーラジカル特集号」編集後記. 腎と透析 2003; 54: 822.
- 2) 青柳一正: こんな病院こんな治療: 筑波技術短期大学附属診療所 漢方・鍼灸との統合医療, 暮らしと健康(保健同人社) 2003; 7月号: 54-6.
- 3) Tsukayama H, Yamashita H: Process of choosing acupuncture intervention in randomised controlled trials: a systematic review, Focus on Alternative and Complementary Therapies 2003, 8(4), 544-545.
- 4) Yamashita H, Ohtsuki K, Tsukayama H: Newspaper advertisements of CAM products in Japan, Focus on Alternative and Complementary Therapies 2003, 8(4), 557.
- 5) 山下仁, 統合医療って何? 混迷する用語の使い分け, メディカル朝日 2003, 32(9), 72-73.
- 6) 山下仁, 榎田高士, 尾崎朋文, 鈴木信: 鍼灸の安全性と信頼の向上を目指して, 医道の日本 2003, 711 (2003. 2), 11-33.
- 7) 山下仁: 現代医療としての鍼灸臨床(22)エビローク, 鍼灸の世界(桜雲会) 2003, 76(2003. 1), 12-25.
- 8) 山下仁: 第6回 JACT 大会 2002 に参加して, たにはだより, 2003 19(1), 6.
- 9) 山下仁: 鍼灸臨床におけるリスクマネジメント, 鍼灸の世界(桜雲会) 2003, 77(2003. 4), 15-26.
- 10) 山下仁: 医療の壁の向こうにあるもの—あるイギリス人夫婦との出会いと別れ—, 鍼灸の世界(桜雲会) 2003, 78(2003. 7), 58-67.

- 11) 山下仁: 鍼灸技術のエビデンス (1) 総論, 鍼灸の世界 (桜雲会) 2003, 79 (2003.10), 34-41.

◇学会発表

- 1) 青柳一正, 中島基雄, 大坂基男: 肝細胞におけるヒドロキシルラジカル産生は NO により増減する: カルモジュリンアンタゴニストによる検討, 第 15 回腎とフリーラジカル研究会, 東京, 2003 年 9 月
- 2) 青柳一正, 中島基雄, 大坂基男: 肝細胞におけるヒドロキシルラジカル産生は NO により増減する: カルモジュリンアンタゴニストによる検討, グアニジノ化合物研究会, 大分, 2003 年 10 月
- 3) Kazumasa Aoyagi: Kidney diseases, free radicals and protection, International Symposium on Free Radicals and Health: Molecular Interventions and Protection of Lifestyle-Related Diseases. Tohoku University of Community Service and Science, Sakata, JAPAN, October 23, 2003
- 4) 青柳一正, 津嘉山洋, 山下仁: 肝細胞における活性酸素産生機構の研究: フェノバルビタールによる活性酸素増加とバイカレインによるその抑制, 第 11 回日本東洋医学会茨城県部会, つくば市
- 5) 櫻庭陽, 小嶋知正, 市川あゆみ, 森山朝正, 青柳一正: 動作により全身状態を診る方法. 第 54 回日本東洋医学会学術総会, 福岡県, 2003 年 5 月 16 日
- 6) Tsukayama H, Yamashita H: Process of choosing acupuncture intervention in randomised controlled trials: a systematic review, 10th Annual Symposium on Complementary Health Care, London, UK, November 21-22, 2003.
- 7) Yamashita H, Ohtsuki K, Tsukayama H: Newspaper advertisements of CAM products in Japan, 10th Annual Symposium on Complementary Health Care, London, UK, November 21-22, 2003.
- 8) 木村友昭, 津嘉山洋: 音声出力/認識を利用した対話型電子カルテ入力システムの検討, 第 52 回全日本鍼灸学会, 高松市, 6. 6-8, 2003.
- 9) 津嘉山洋, 山下仁, 坂井友実, 天貝均: 腰痛に対する鍼通電と経皮的末梢神経電気刺激のランダム化比較試験, 第 52 回全日本鍼灸学会, 高松市, 6. 6-8, 2003.

- 10) 山下仁: 日本における相補代替医療の利用状況—2001 年の電話調査より—, 第 3 回日本統合医療学会, 川崎市, 5. 17-18, 2003.
- 11) 山下仁: 鍼灸治療のエビデンス, 第 22 回全日本鍼灸学会北陸支部学術集会, 金沢市, 8. 24, 2003.
- 12) 山下仁: 癌と鍼灸を語るために必要なエビデンス, 第 22 回全日本鍼灸学会関東甲信越支部学術集会, 東京都江戸川区, 9. 7, 2003.

◇講演など

- 1) 青柳一正: 酸化ストレス評価のための新しいバイオマーカー. 富山医科薬科大学和漢薬研究所セミナー, 2003 年 9 月 10 日
- 2) 青柳一正: 腎不全における活性酸素とその増加機構 (特別講演), Vitamenbrane 研究会, 品川プリンスホテル, 2003 年 7 月 12 日
- 3) 青柳一正: 腎不全の臨床, つくば鍼灸研究会, 筑波技術短期大学附属診療所, 2003 年 9 月 30 日
- 4) 青柳一正: 第 19 回茨城県東洋医学研究会 2003 年度研究会開催世話人
- 5) 青柳一正: 第 11 回日本東洋医学会茨城県部会世話人
- 6) 津嘉山洋, 山下仁: Review of Clinical Trials on Acupuncture in Japanese Literature (1965-2000), 第 52 回全日本鍼灸学会 (日韓鍼と EBM ワークショップ準備会), 高松市, 6. 6, 2003.
- 7) 山下仁: ニアミスから学ぶ過誤予防—鍼灸インシデントレポートの試み—, 第 14 回家族看護学教室研究会, 東京大学, 7. 25, 2003
- 8) 山下仁: 鍼灸の臨床研究について, 第 12 回東洋医学総合研究会, 名古屋市, 8. 9-10, 2003

◇公開講座

- 1) 山下仁: 家庭でできる鍼灸・手技療法—灸療法—, 筑波技術短期大学公開講座, 土浦市茨城県南生涯学習センター, 6. 29, 2003